無断転載禁止
引用許可必要

パネル「変革のポテンシャルを探る」
ー5グリッド融合型インフラの構築ー

浅野　浩志
東海国立大学機構岐阜大学地方創生エネルギーシステム研究センター特任教授
東京科学大学総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所特任教授
内閣府科学技術・イノベーション推進事務局プログラムディレクター
明治大学特別招聘教授
東京大学生産技術研究所リサーチフェロー

2026年9月8日
EAJ プロジェクト「社会、産業、人々の生活の変容を支える電力システムの在り方」
@東京大学生産技術研究所

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立大学機構 | 岐阜大学

統合設計と中長期的意思決定プロセス（提言４）

- 単に司令塔の設置を求めるのではなく、将来像を継続的に議論し、定量的根拠に基づいて見直していく「場」の必要性
  - 激変する国際エネルギー秩序をどう捉えるか→エネルギー安全保障、経済安全保障政策に反映
  - 社会的最適化のための計画スコープの拡張と（サイロ化しない）規制ガバナンスが重要
- 統合分析モデルの中で、サプライチェーン全体を扱っているか、外部環境の不確実性の扱い
- 例、統合エネルギー資源計画の中で、サプライチェーン全体を扱っているか
  - システム境界の拡張
  - 供給計画から統合エネルギー資源計画（電力＋他のエネルギー）へ
- 電気事業のガバナンス
- 「政策・規制・広域運用」を分離したガバナンス」へ移行したが、統合設計に有効か

事業領域の拡大・収益拡大の可能性（提言３への対応）

- AI、通信、モビリティ、農業、上下水道等との連携が進展する中で、電力システムは社会インフラ全体の一部として再設計される段階に入りつつある
- 分野横断型システムへの拡張（セクターカップリング型）
- 5グリッド融合型インフラの構築：電力・情報通信・熱・水・資源流通の協調運用によるクリーン化・強靱化・社会価値最大化を目指す
- これを実現するために、どのように合意形成を図るか